

氷見の土地改良



第46号
発行所
氷見市窪938
氷見市土地改良区
TEL0766(91)0083

新春のご挨拶



氷見市土地改良区理事長
氷見市土地改良協会長

布子 誠剛

新年あけましておめでとうございます。
組合員の皆様方には、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から、土地改良区の事業運営に暖かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は年明けから六月までは雨が

少なく降雨量も六ヶ月連続で平年値を下回りましたが、七月から八月前半にかけては一転し長雨が続きました。この様なことから、五位ダムからの導水量も二、七九八トンで、前年と比べますと一、〇一一トンも少なくここ五年間では最低の水量となりました。また、富山県産水稲の作柄状況についても、十アール当たりの収穫量は平年を二キロ程度上回るものでしたが、作況指数では全国平均の「九十八」に比べ「一〇〇」の「平年並み」であり、自然条件に大きく影響される農業生産者にとっては、苦勞の多い一年であったように思います。

一方、工事関係では、関係組合員の長年の要望でありました大浦地区での圃場整備事業が、新規の国庫補助対象事業として昨年四月に着手することができ、又、新年度からは七分一地区におきましても新規に着手する運びとなっているとあります。

県、市御当局のご尽力に対し、改めて深く感謝申し上げますと伴に財政環境は一

段と厳しいとお聞きいたしますが、これらの土地改良関係事業費の予算化につきましては、引続き、格別のお力添えを賜りますよう関係者一同、切にお願い申し上げます。

私も土地改良区は、食糧生産の要となる農業用各施設の維持管理を通しまして氷見市農業の振興に深くかかわって参りました。今後とも、その自負と気概を持って取り組むと伴に公共的性格の極めて強い団体であることを再認識し、引続き、組合員の皆様の負託にしっかりと応えるべく健全で適正な事業運営に努めて参りますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり、組合員の皆様の益々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新春のご挨拶といたします。





◆ 氷見市長 堂故 茂

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、新春の門出を健やかに迎えることと心からお慶び申し上げます。

昨年は、能越自動車道氷見北インターチェンジが開通しました。高速交通網の整備は、本市に観光や物流をはじめ、市民生活の利便性など、大きな効果をもたらしました。

また、氷見の新しい魅力として、バラを中心とした「氷見あいやまガーデン」が開園しました。更には、ワイナリーなども新たな魅力として成長しつつあり、田園漁村空間博物館構想で表現された地域の宝を市民の皆様とともに一層高め、「二百万人交流のまちづくり」が大きく進展するよう取り組んでまいります。

新しい年は、金沢医科大学氷見市民病院の建設工事が本格的に始まり、更には、氷見高

校と有磯高校が再編により新高校としてスタートするなど、新たな節目となる年でもあります。

社会を取り巻く情勢は厳しいものがありますが、次代をしっかりと見据えながら、暮らしやすいまちづくりへむけ、確実な歩みができるよう努めてまいります。また、氷見が本来持つ氷見らしさや氷見の良さを大切に、多くの皆様と力を合わせ、氷見の魅力としてより強い輝きとなるよう取り組んでまいります。

氷見の食は、多くの人を引き寄せる氷見を代表する魅力となってきました。寒ブリなどきときとの海の幸はもとより、はさがけ米、ハトムギ、氷見牛などのさまざまな野山の幸も氷見の食を支えてくれており、これらがより大きな輝きとなるよう集落営農組織の育成

や、地消地産の一層の推進などをはかり、「食都・氷見」の確立に努めてまいります。

新しい年も、ますますのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健康とご多幸を心からお祈りしまして、新年のご挨拶いたします。





高岡農林振興センター所長 森松 敬

明けましておめでとうございます。

氷見市土地改良区の組合員の皆様方には、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

また、皆様方には、日頃から当センターが実施しております農業農村整備事業や普及指導活動等の円滑な推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、コメにおいて、夏場の日照不足や低温等により品質・収量への影響が心配されましたが、作況指数は一〇〇と平年並み、コシヒカリの品質においても目標としていた一等米比率九〇%以上を確保できました。これもひとえに、土地改良施設の維持管理等に適切に取り組んで頂いた組合員皆様方のおかげであり、改めて深く感謝申し上げます。

ご承知のとおり、国政では、九月の臨時国会において民主党政権が誕生しました。また、十一月には行政刷新会議による事業仕

分けが行われました。これらにより、既存事業について検討が行われ、農林行政においても大きな転機を迎えようとしています。戸別

所得保障制度の導入や農業農村整備事業の見直しなど、いずれも今後の地域農業の推進に直接影響する重要な施策となります。施策の内容が詰められている段階で詳細は不明ですが、今後とも、速やかで適切な情報提供に努めてまいりたいと考えております。

さて、管内の農業農村整備におきましては、大浦地区において念願のほ場整備事業が着工したほか、余川川頭首工の一部改修や氷見広域農道橋の耐震化、あるいは吉池などの中山間地域では地すべり対策が行われました。このほか、過去に造成された農業水利施設等について、予防保全計画に基づき施設の長寿命化を目指しています。

また、土地改良区の皆様におかれましては、十二町潟排水機場の運転や五位ダムから

の導水量の調整など、土地改良施設の日々の運用にあたりご尽力いただいていることに改めて感謝申し上げます。

今後、高齢化・少子化の進展等により農業の担い手不足が懸念される中で、こういった生産基盤の整備や施設の適正な管理は、農業の生産性や収益性を向上させるだけでなく、安定で持続的な農業の体制作りにも寄与し、他方では耕作放棄地の発生を防止する効果も期待されています。

そのため、当センターとしても土地改良区と連携し、「農地・水・環境」のより一層の強化を目指し努力して参りますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

終わりに、新しい年が皆様方にとって実り多い幸せな一年となりますよう心からご祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。



第三十七回通常総代会が、平成二十一年三月十八日（水）午後一時三十分から水見市農業会館四階ホールにおいて新総代七十八名参加のもと開催されました。

会議に先立ち、布子誠剛理事長の挨拶に引き続き中田清信水見市副市長様、嶋崎秀豊富山県高岡農林振興センター所長様の両氏からご祝辞を頂きました。

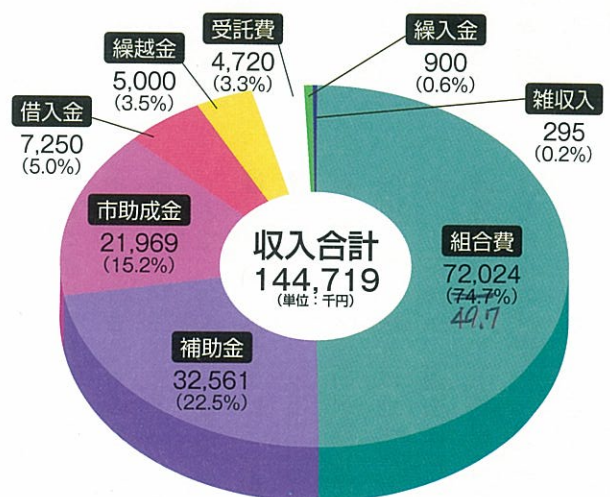
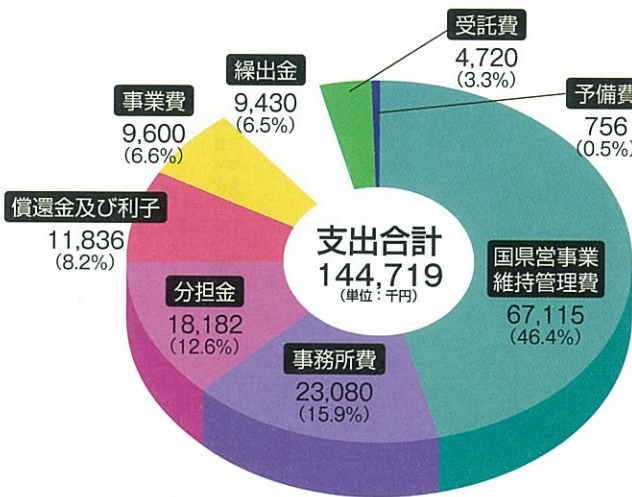
定款の定めにより上庄地区の新井豊総代を議長に選出し、平成二十一年度事業計画、同収支予算及び特別会計収支予算等の十二議案について審議が行われ、何れも原案通り可決されました。主な内容は次のとおりです。

その後、亀田哲男理事長職務代理の閉会の挨拶があり午後三時に閉会となりました。

平成21年度一般会計収支予算

(単位：千円)

本年度	前年度	比較増減
144,719	158,895	△14,176



平成21年度土地改良施設維持管理事業計画の概要

(単位：千円)

事業名	地区名	事業量	事業費
幹線用水路補修工事	中尾	水路樹脂モルタル補修 L=140.0m	5,000
泉1号揚水機外補修工事	泉	揚水機 2箇所 用水取入水路 L=14.0m	2,500
栗原調整池管理道路路面補修工事	栗原	フトン籠工 L=40.0m	1,600
農業用水水源地域保全対策事業	市内一円	施設の表示看板等	500
計			9,600

平成21年度特別会計収支予算

国・県営かんがい排水事業積立金特別会計 (単位：千円)

本年度	前年度	比較増減
163,477	435,492	△272,015

転用決済積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
26,871	70,207	△43,336

役員退任慰労積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
3,580	3,980	△400

職員退職給与積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
73,710	96,088	△22,378

基本財産積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
104,135	96,052	8,083

国・県営かんがい排水事業維持管理積立金特別会計 (単位：千円)

本年度	前年度	比較増減
253,372	240,216	13,156

国・県営かんがい排水事業維持管理修繕費積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
40,207	40,985	△778

十二町潟沿岸管理区特別会計

本年度	前年度	比較増減
46,831	53,060	△6,229

十二町潟沿岸管理区転用決済積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
22,566	20,945	1,621

十二町潟沿岸管理区維持管理積立金特別会計

本年度	前年度	比較増減
15,635	14,735	900

平成二十一年度
第一回臨時総代会が
開催されました。

平成二十一年十一月二十七日(金)午後一時三十分から、平成二十一年度第一回臨時総代会が氷見市農業会館四階ホールにて開催されました。

当日は公務多忙の折にも拘らず、堂故茂氷見市長様、川田優同産業部長様及び中葉良夫同農林課長様のご臨席を賜りました。

会議に先立ち布子理事長の開会の挨拶に続き、堂故市長様からご祝辞を頂きました。

出席総代六十七名の中から十二町地区の崎山修総代を議長に選出し、平成二十年度事業報告及び同一一般会計収支決算等の五議案及び報告第一号の専決処分については、何れも原案通り可決又は承認を賜りました。その後、小橋賢治理事長職務代理の閉会の挨拶があり、午後三時に閉会となりました。



平成20年度
一般会計
収支決算

収入総額

161,967,945円

(内前年度繰越金 10,426,286円)

支出総額

144,772,274円

(次年度繰越金 17,195,671円)

● 収入

(単位：円)

款 項 目	本年度決算額	本年度予算額	比較	
			増	減
1 組 合 費	76,255,206	79,341,000		3,085,794
2 受 託 費	3,270,250	3,271,000		750
3 補 助 金	47,160,000	47,535,000		375,000
4 市 助 成 金	23,145,892	23,489,000		343,108
5 雑 収 入	1,178,111	275,000	903,111	
6 財 産 収 入	0	93,000		93,000
7 繰 入 金	532,200	492,000	40,200	
8 繰 越 金	10,426,286	5,000,000	5,426,286	
収入合計	161,967,945	159,496,000	2,471,945	

● 支出

(単位：円)

款 項 目	本年度決算額	本年度予算額	比較	
			増	減
1 事 務 所 費	17,316,659	26,983,000		9,666,341
2 償 還 金 及 び 利 子	31,318,318	35,956,000		4,637,682
3 事 業 費	14,070,000	14,070,000		
4 国 県 営 事 業 維 持 管 理 費	62,622,575	61,311,000	1,311,575	
5 受 託 費	3,270,250	3,271,000		750
6 分 担 金 及 び 負 担 金	12,558,472	13,701,000		1,142,528
7 繰 出 金	3,616,000	3,616,000		
8 予 備 費	0	588,000		588,000
支出合計	144,772,274	159,496,000		14,723,726

平成20年度特別会計収支決算

国・県営かんがい排水事業積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
435,492,000	402,376,183	402,376,183	0

転用決済積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
70,207,000	76,662,135	56,306,048	20,356,087

役員退任慰労積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
3,980,000	3,980,059	507,500	3,472,559

職員退職給与積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
96,088,000	94,865,263	24,192,168	70,673,095

基本財産積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
96,052,000	96,052,680	0	96,052,680

国・県営かんがい排水事業維持管理積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
240,216,000	243,831,093	0	243,831,093

国・県営かんがい排水事業維持管理修繕費積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
40,985,000	41,659,910	5,283,100	36,376,810

十二町潟沿岸管理区特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
53,060,000	53,974,669	50,546,875	3,427,794

十二町潟沿岸管理区転用決済積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
20,945,000	21,857,854	0	21,857,854

十二町潟沿岸管理区維持管理積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
14,735,000	14,735,464	0	14,735,464

水源林とは

水源林とは、水源地の周辺にある森林をさし、保水や洪水緩和、自然の自浄作用による水質浄化、大気中の二酸化炭素の吸収、レクリエーションの場の提供など、木材生産に限らず多様な機能を併せもっています。

また、森林は根を網の目のように土の中に広げ、土や石をしっかりと捕まえ土砂崩れをふせぎながら地中に貯めた雨水をゆっくりと流出させ、洪水や濁水をやわらげる働きをすることから、「緑のダム」とも呼ばれています。降った雨が地下水となるためには、樹木の有無により約二十五%もの差がでるそうです。

さらに、森林から流れ出る地下水は、下流の河川や湖沼の富栄養化（よごず）の原因となる窒素やリンの含有量がわずかであり、天然の浄水場である森林はミネラルが溶け込んだ豊かな農業用水を育みます。

元来、水源地域の森林は、林業活動などを通じて維持されてきましたが、近年、様々な要因から荒廃が進む水源林が増えています。農業用水水源地域保全対策事業は、こうした水源林と農業用水の

関わりを地域の皆様方に理解を深めていただき、水源地域の保全に努めるという趣旨で平成二十年度からスタートしています。

水見市土地改良区では、小学生を対象とした自然学習会の開催や水利施設の看板設置等を行って来ましたが、今後とも本事業を有効に活用し、地域の皆様と伴に豊かな農業用水の有効利用に努めてまいります。



桑の院ため池と水源林

氷見市土地改良協会 平成二十一年度総会の開催

氷見市と市内四土地改良区及び十三工区で組織する氷見市土地改良協会の平成二十一年度総会が、平成二十一年六月三日（水）午後二時三十分から氷見市土地改良区二階会議室で、会員十六名出席のもと開催されました。

同協会長の布子氷見市土地改良区理事長の挨拶の後、来賓の川田氷見市産業部長様からご祝辞を賜りました。会長が議長を務め、提案された三議案についてはいずれも原案の通り承認または可決されました。

●平成20年度一般会計収支決算

(単位：円)

予算額	収入決算額	支出決算額	繰越額
1,293,000	1,296,935	1,154,395	142,540

●特別会計

(単位：円)

予算額	収入決算額	支出決算額	繰越額
3,446,000	3,451,688	850,000	2,601,688

●平成21年度一般会計収支予算

(単位：千円)

本年度	前年度	比較増減
982	1,293	△311

●特別会計

(単位：千円)

本年度	前年度	比較増減
2,602	3,446	△844

宮田小学校自然学習会の開催

平成21年6月23日(火)午後1時から、宮田小学校の4年生児童60名を対象に、農業用水水源地域保全対策事業の一環としての自然学習会が実施されました。

この自然学習会は、水源林が雨をかん養し豊かな農業用水に育むだけでなく、二酸化炭素の吸収効果や生物保全機能といった色々な機能を併せ持つことなどに理解を深め、その保全が如何に大切であるかを次世代に知ってもらうという趣旨で平成20年度から実施しています。

前日の雨の影響が心配されましたが、当日は天候にも恵まれました。五位ダムへ初めて来た児童が多く、松本透ダム管理事務所長代理からの五位ダムの目的や構造、管理システム、氷見市への導水経路などの説明に児童たちは耳を傾けました。五位ダムの濁りの少ないきれいな水が、ダムを囲んでいる水源林の涵養機能によるものとの説明を受け、改めて水源林の重要性を認識したようです。

次の見学箇所の大浦調整池では、流入バルブの現地操作により口径250ミリの管から勢いよく五位ダムから送られた水が吐き出されると、児童たちから大きな歓声が上がりました。

最後に、宮田小学校近くの島尾1号注水工では、注水口から各水路へ配水される状況などを見学し、大浦調整池などにいったん溜められた用水が、どのように使用されているのかを学習しました。児童たちからは、「水が遠くから運ばれてくることを初めて知った。」「きれいな水を作る森林は偉いと思った。」等の感想があり、水源林と農業用水の密接な関わりについて理解を深める実りある学習会となりました。



●新役員名簿

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	布子 誠剛	理事	大橋 豊一
理事長職務代理	小橋 賢治	理事	山崎 貴
常務理事	國本 嘉隆	理事	村田 邦夫
理事	坂本 昭男	理事	開上 茂一
理事	北村 孝信	理事	扇浦 一男
理事	高木 治雄	理事	濱元 昌宏
理事	原田 育弘	理事	木和田 勝
理事	尾矢 公道	総括監事	野畑 圭造
理事	前田 秀昭	総括監事職務代理	玄 勉
理事	辻 善一	監事	飯山 喜作
理事	東 清夫	監事	田中 賢治
理事	新屋敷義成		
理事	山外 一郎		
理事	大石 勝己		

任期満了に伴う総代選挙が平成二十一年二月二十六日（木）に行われ、いずれの選挙区も無投票当選で新たな総代が決定しました。新任四十九名、再任四十一名で、任期は平成二十一年三月九日から向こう四年間です。

また、三月十八日（水）に開催された第三十七回通常総代会においては、任期満了に伴う役員総選挙が行われ、新たに理事二十一名、監事四名が無投票当選で選出されました。その後、三月三十日に組織役員会を開催し新たな執行体制を決定しました。理事長には布子誠剛現理事長、常務理事には國本嘉隆現常務理事、総括監事には野畑圭造監事がそれぞれ就任されました。

**新たな総代及び役員が
選出されました。**

●新総代名簿

選挙区	氏名	備考	選挙区	氏名	備考	選挙区	氏名	備考	選挙区	氏名	備考
第1 (宮田)	村田 博	再	第6 (十二町)	西森 昌昭		第10 (久目)	増田 秀昭	再	第15 (八代)	林口榮一郎	再
	和泉 泰司			前田 徹			干場 秀夫	再		國雲 龍作	再
	村 幸三			中山 俊明	再		上 耕陽	再		辻 忠孝	
	山本 信夫	再		谷口 健郎			中村 正則			向 教一	再
	川田 安広	再		崎山 修	再		卷 巖	再	澤井 努		
第2 (窪)	東海 一正		第7 (上庄)	橋本 純	再	第11 (加納)	谷口 正之	再	第16 (阿尾)	嶋田義一郎	再
	東海 勇雄			新井 豊	再		宮内 隆	再		岩池 英男	再
	山田 正行			飯山喜代治			大石 哲一			扇浦 信一	
	小路 明吉			表 健二			大門 邦夫			堀口 八郎	
第3 (神代)	浦 良雄		第8 (熊無)	東 敏昭		第12 (稻積)	旅 重晴		第17 (藪田)	平野 一之	再
	桐 敏雄			稲政 弘行			布野 勝己	再		浅野 秀孝	再
	關 榮太郎	再		稲場 一雄			坂下 敏弘	再		太田 直茂	
第4 (仏生寺)	上手 実		第9 (速川)	國納 貞則		第13 (余川)	屋敷 弘	再	第18 (宇波)	坂本 菊男	
	藏 敏治			森 芳實	再		西塚 和弘	再		坂下 克弘	
	宮崎 清治	再		大谷内孝治	再		仲 敏			山本 始	
	堂下 秀行			山崎 俊政	再		亀谷 康秋			林 節朗	
	長谷 基男	再		坂口 均	再		向柴 晃一			清水 雅明	
第5 (布勢)	六田 敏夫		第14 (碓石)	堂田 一茂		第19 (女良)	森本 成剛	再	清水 常雄		
	山本富美夫	再		干場 清一			高口 延男	再	福田 政治		
	田邊 幸秋	再		大橋 弘信	再		奥原 藤造		谷口 久一	再	
	中田 進一			齊藤 和夫			高戸 幸一	再	井山 哲郎	再	
	前 繁			谷口 明夫	再	谷口 豊一		西井 慎吾	再		
				西出 喜作							
				丸山 國雄							

大浦地区圃場整備事業 起工地鎮祭

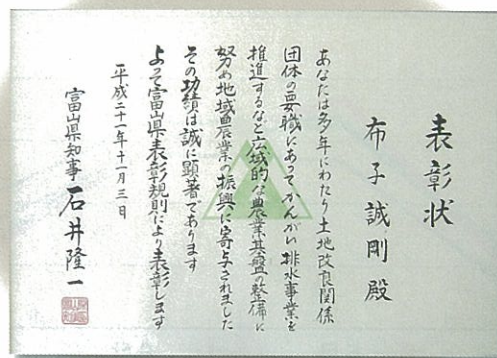
平成二十一年十一月七日(土)午前十時から、大浦公民館において大浦地区経営体育成基盤整備事業(農業生産法人等育成型)の起工式典が執り行われました。当日は小春日和の青空のもと、棚瀬佳明氷見市副市長や土合雅博富山県高岡農林振興センター次長、小橋賢治氷見市土地改良区理事長職務代理、その他各関係機関の方々や地区役員など関係者多数が出席しました。

神事が執り行われた後、柳銑次大浦地区事業推進委員長の式辞があり、引き続き、棚瀬副市長、土合次長から祝辞がありました。

大浦地区経営体育成基盤整備事業の対象耕地面積は六八haで、対象農家数は一六七戸、総事業費は十八億円です。事業実施期間は平成二十一年四月から平成二十六年三月までとなっています。



祝 富山県功労表彰受賞



去る十一月二日(月)富山県庁四階ホールで行われた富山県功労表彰式において、布子理事長が富山県の功労者として平成二十一年度の富山県功労表彰を受賞しました。

表彰は、産業経済部門功労として、昭和六十一年以来二十三年間にわたり氷見市土地改良区の要職にあつて、かんがい排水事業を推進するなど広域的な農業基盤の整備に努め、地域農業の振興に寄与されたご功績によるものです。引き続き、氷見市土地改良区の限らない発展と組合員の幸せのため、一層のご尽力をお願い申し上げます。

組合員の皆様へ

こんな時には、必ず届出をしてください。

- ・ 組合員が死去された場合
- ・ 農地を売買・贈与・交換・相続等した場合
- ・ 農業者年金を受給のため経営移譲した場合
- ・ 住所や組合員名を変更した場合
- ・ 田を水稻以外に利用している場合
- ・ 田が荒廃している場合

届出用紙は
事務局にあります

申請書類はホームページからもダウンロードできます。

水土里ネット氷見

検索

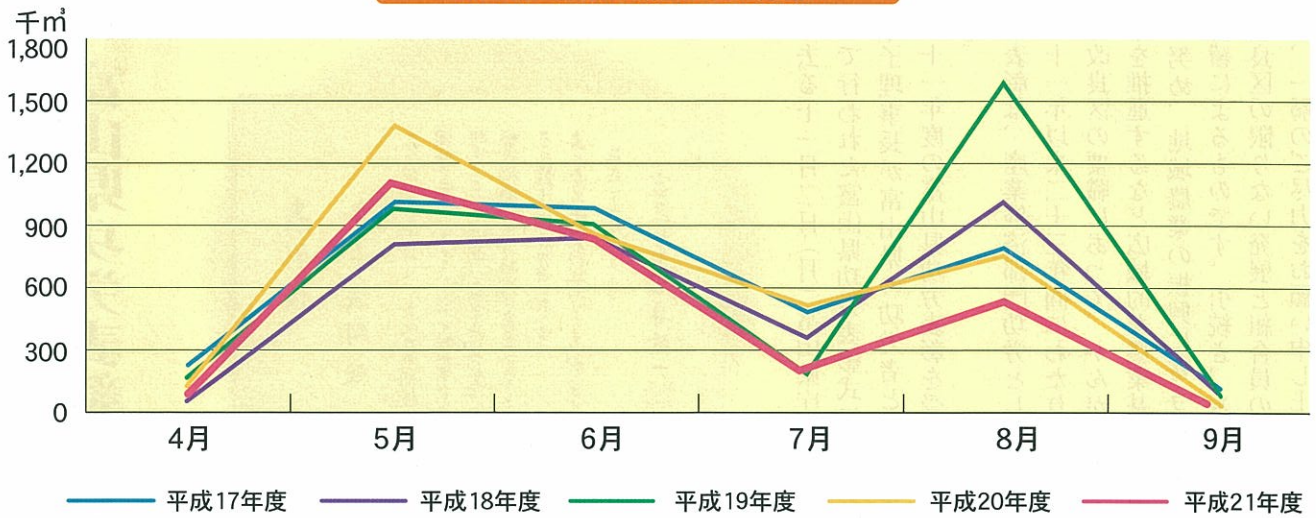
平成二十一年度の導水量は 二、七九八千³m

本年度の国営五位ダムからのかんがい用水の導水量は、二、七九八千³mで前年度に比べ、〇、一二千³mの減となり過去五年間で最低の水量となりました。

今年の年明けから六月末までの降水量は、六ヶ月連続で平年値を下回っていたことから、本年度は水不足が懸念されていましたが、一転、七月に入るとほぼ毎日曇り空が続きました。前年のような集中豪雨に見舞われることはありませんでしたが、断続的な降雨があり、七月の雨量は三六二mmを記録しました。八月に入っても月の半分が曇天で日照時間が少なかったため、本年は稲作農家にとって非常に厳しい気象条件であったといえます。

現在、来年度の安定配水に向け、各種データの分析や整理、各種施設の点検調整及び必要な修繕を進めています。パイプラインの漏水や注水工、空気弁からの溢水等は直ちに修復致しますので、発見された時はお手数ですが業務課(九一〇〇八三)までご連絡下さいませようお願いします。

過去5年間の導水量の推移



平成二十二年元旦 氷見市土地改良区

- 理事長 布子 誠剛
- 理事長職務代理 小橋 賢治
- 常務理事 國本 嘉隆
- 理事 坂本 昭男
- 北村 孝信
- 高木 治雄
- 原田 育弘
- 尾矢 公道
- 前田 秀昭
- 辻 善一
- 東 清夫
- 新屋敷 義成
- 山外 一郎
- 大石 勝巳
- 大橋 豊一
- 山崎 貴
- 村田 邦夫
- 開上 茂一
- 扇浦 一男
- 濱元 昌宏
- 木和田 勝
- 野畑 圭造
- 玄 勉
- 総括監事職務代理 飯山 喜作
- 監事 田中 賢治
- 同 堀内 信二
- 同 管理課長 守田 勇二
- 業務課長